

# 佐久穂小・中学校 キャリア教育便り 1



5月の分散登校 6年生

## 体験学習ようやく実施に

令和2年度の佐久穂小・中学校キャリア教育は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な体験学習が中止や延期という状況になってしまいました。実施可能な学習については、縮小や方向転換を余儀なくされてしまいました。例年のように地域の皆様にご協力をいただけませんでしたが、生徒たちには勤労観や職業観を少しでも身につけられるように模索をしてきました。この度、佐久地域の感染の状況が落ち着いてきた事から、特別総合の体験学習について、予防対策に配慮しつつ実施することができ、便りもようやく発行できる運びとなりました。



5月の分散登校 7年生

## 10月13日 特別総合が実施されました

### 7学年 佐久穂の歴史や産業に学ぼう

7学年は町の歴史民俗資料館(旧八千穂中)・奥村土牛記念美術館を見学しました。



民族資料館



機織り機



土器



奥村土牛美術館

### 8学年 キャリア講座

8学年は理学療法士、スポーツトレーニング、美容技術、動物と関わる仕事、パッケージの組み立てについて、それぞれ選んで体験しました。



理学療法士



スポーツトレーニング



美容技術



動物と関わる仕事



パッケージ作り

### 9学年 福祉体験学習

9学年は高齢者疑似体験、車椅子体験をしました。高齢者や障がいを持った方への支援のあり方について考えました。



車椅子



車椅子



お金の支払い



階段の上り下り



## 4年生 郷土を拓く～用水見学～

4年生は、社会科でこの地域を開いた先人の努力や思いを学ぶ学習の一環で、佐口湖や用水路、白滝、うそのくち円形分水の見学に行きました。それぞれの施設に行くのは初めてだった子が多く、興味深く見学ができました。「水を確保する」「水をなるべく均等に分ける」など、水争いをなくすための工夫や手作業での苦労など、先人の偉大さを更に感じました。それから、「水とはかけがえのないもの」ということを改めて感じました。

わたしたちの暮らしの中にある、昔の人の苦労や工夫、地域の農業を支える仕組みなどを学び、少しでも感謝の気持ちをもってもらえることを願っています。それから、今回見学させていただいた施設は、貴重な町の財産です。今後も大切に守っていく心も育ててほしいと思います。



佐口湖



白滝  
(藤つる分水)



うそのくち円形分水

## 5年生 お米作り



5年生の大事な学習でもある「とお米作り」。ご協力いただく中嶋さんと新津さんには、お米作りについてお話を聞く会に来てくださったり、作業の準備や当日の指導まで、子どもたちがよい体験ができるように、熱心にサポートして下さったりしています。「八十八回手をかけるとお米になる、とされているが、実際はそれ以上に手がかかる」というお話をお聞きし、5年生全員で一生懸命お米作りに取り組みました。



作業方法を説明する  
中嶋さん(左)と新津さん(右)



田植えは5月の地域別分散登校明けの5月28日に行いました。田んぼの中に張ったひもに沿って横一線に並び、丁寧に苗を植えていきました。最初はぎこちない作業の様子でしたが、だんだん慣れて早く植えられるようになっていきました。田んぼの泥に足を取られながらも、泥の感触を楽しみながら、みんなで協力して田植えができました。

稲刈りは9月30日でした。稲の刈り方、束ね方、掛け方など一つ一つ丁寧に教えていただき、みんなで力を合わせて作業をしました。はじめは慣れない手つきでしたが、徐々にサクサクと刈り取る姿が見られるようになってきました。稲の束をひもで縛る作業も手際が良くなっていきました。落ち穂も残らず拾い集めて束ねました。「はぜ」に掛けて脱穀まで天日干しをしました。



田んぼでの作業の締めくくりは、脱穀です。天候の関係で予定より日にちが伸びてしまい、10月28日に脱穀をしました。はぜに掛けてあった稲を順番で機械に運ぶ作業をしたり、藁を集めたり、袋いっぱい集まった籾を運んだり、はぜを片付けたりするなど、それぞれが仕事を見つけ一生懸命取り組みました。脱穀が終わると、藁を機械でカットして、田んぼ一面に散らしました。

精米を終えて戻ってきたお米は、全部で180.1kgになりました。11月20日には、給食で全校の皆さんに味わっていただきました。田んぼでの作業の合間には、お米作りの作業を調べたり、成長を観察したりしてきました。お米作りの中で田植えから脱穀までの作業をすることにより、お米を育てる人々の苦労を少しでも経験し実感することができました。